

東京の伊能忠敬史蹟

芝公園の新旧顕彰碑

現在芝公園の丸山古墳上に立つ顕彰碑は戦後の建立である。旧碑（写真）は立派な青銅製オベリスクであったが、戦時中に供出された。

旧顕彰碑建立の経緯

明治 15 年（1882）9 月 元老院議長佐野常民、東京地学協会で忠敬の事績を講演。

明治 16 年 1 月 東京地学協会会長 北白川能久親王より贈位申請。2 月 27 日正四位に。
伊能節軒、大須賀庸之助（香取郡長）が資料収集し県にも働きかけ、明 15 年 12 月、県からも申請。

明治 20 年 6 月 30 日に東京府知事あて銅像建立を申請。8 月 17 日許可。

総代 渋沢栄一、大倉喜八郎、福地源一郎、大鳥圭介ら

除幕式 明治 22 年（1889）12 月 4 日

資金

一般募金 3 回分 3,845 円 82 銭

個別募金 4,392 円 合計 8,237 円

宮内庁恩賜 100 円。各親王殿下 85 円。各大臣 210 円。陸軍省有志 264 円。

海軍省有志 230 円。海軍水交社 400 円。

東京地学協会 300 円。東京地学協会会員有志 482 円。

東京府および各県下有志寄附 1,774 円。

利子 136 円。先行取得した芝大木戸の用地売却 400 円。補充 10 円。

規模

高さ 2 丈 4 尺（7.2m）設計 辰野金吾博士

当初、測量開始地点の大木戸に予定されたが、何等かの理由で芝公園に変更された。

金属供出では、昭和 19 年（1944）9 月 23 日撤去。

新顕彰碑の再建

昭和 40（1965）年 5 月 8 日除幕式

世話人 渋沢敬三氏ほか 28 名。実行委員長飯本信之氏、東京地学協会役員村越司氏

資金 財界よりの寄附約 670 万円 設計 円鍔勝三氏。

伊能忠敬銅像 深川の富岡八幡宮境内

実行委員会成立は2001年3月15日。

実行委員会の構成（順不同）

会 長	（社）日本測量協会 会長（京都大学名誉教授）	中川一郎
委 員	富岡八幡宮宮司	富岡茂永
同	（社）全国測量設計業協会連合会会長	鈴木俊之
同	日本土地家屋調査士会連合会 会長	水上要蔵（途中で西本孔昭に交代）
同	（社）日本ウオーキング協会会長	田中康彦
同	（株）朝日新聞社 代表取締役社長	箱島信一
同	（有）劇団・俳優座代表取締役	古賀伸雄
同	（財）日本地図センター理事長	大竹一彦
同	伊能ウオーク協賛団体代表・月星化成社長	植松俊明
同	伊能忠敬研究会代表理事	渡辺一郎（事務局長兼務）

オブザーバー

国土地理院参事官 星埜由尚

幹事会の構成（順不同）

代表幹事	伊能忠敬研究会代表理事	渡辺一郎
幹 事	富岡八幡宮・宮司	富岡茂永
同	（社）日本測量協会理事	島崎裕正
同	（社）全国測量設計業協会連合会専務理事	上原将孝
同	日本土地家屋調査士会連合会常任理事	松岡直武（途中で斉藤重則に交代）
同	（社）日本ウオーキング協会専務理事	木谷道宣
同	（株）朝日新聞社スポーツ企画部長	石沢隆夫
同	（有）劇団俳優座	古賀伸雄
同	（財）日本地図センター常務理事	鶴見英策（途中で理事・永井信夫に交代）
同	（株）月星化成取締役	田中久義

オブザーバー

国土地理院関東地方測量部長 堀野正勝

（転勤により途中から国土地理院測図部長に）

諸団体・有志等の寄付金応募総額 22,771,600 円

全国測量設計業協会連合会有志	5,459,900 円
日本ウオーキング協会有志	3,241,000 円
（東京都ウオーキング協会再掲）	（ 1,000,000 円 ）

浅草寺

忠敬の歩測の道は、仲見世を通り、本堂まえから右折して二天門にかかる。忠敬とは深い縁がある。

源空寺

忠敬の墓所。師匠の高橋至時墓の隣にある。遺骸はここに葬られた。佐原の菩提寺の観福寺には遺髪が葬られた。

地図御用所跡

江戸府内図の測量下図、北町奉行寄力 藤田六郎左衛門屋敷から推定。元桑原隆朝宅跡。忠敬は第二次測量帰着後、隠宅から住居を移し、地図御用所としたが、完成をまたずにここで没した。

隠宅跡

歩測練習の道、江戸府内図の測量下図より推定。少しずれるか。